



～おはなしと絵本を楽しむ～

第21号

2021年9月

おはなしグループ「パルランド」通信

昔話は、人から人へ口伝で伝えられてきました。昔、子どものころにおじいちゃんやおばあちゃんから聞いたおはなしを自分が大人になって、何十年も経ってから、また子どもに聞かせる。そうして伝え続けられてきた昔話一昔のおはなし一だけ、いまの時代の私たちに響くものがたくさんあります。

人は、ことばでイメージを作り上げることができます。豊かな言葉を育てることは、想像力を養い、たくましい心を育てることができると思います。生きるのが難しい時代にこそ、心を優しくつつんで、前を向いて進んでいこうという希望をもてるような、そんなおはなしを早く直接に語って届けたいと願う日々です。



おすすめのおはなし



かしこいモリー

子どくさんの貧しい夫婦が、下の三人の女の子を森の中へすてる。三人は日が暮れるころ、一軒の家を見つけ、それは人食いの大男の家だった。

一番年下の森一の機転で何とか逃げ出し、ある王さまのお城に着く。話を聞いた王さまは、大男のところへ戻って行って枕もとの刀を盗んできたら、上の姐さんを自分の息子の嫁にしてやるという。モリーは、「やってみます」と答えて、大男の家に戻っていく…。

スリルに満ちた場面が続き、ハラハラドキドキ。

ジェイコブズ/松岡恭子訳
おはなしのろうそく1
東京子ども図書館



おすすめの絵本

わたし



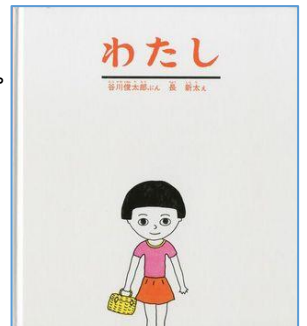
「わたし」はやまぐちみちこ。男の子からみると女の子、お母さんやお父さんからみると娘のみちこ、犬からみるとにんげん…宇宙人から見ると地球人。

わたしを様々な立場から眺めた絵本。

わたしはひとりなのに、人とかかわりの中でいろんなわたしがいる。

簡潔な文章とユニークな絵がベストマッチ。

又 谷川俊太郎
絵 長新太
福音館書店



冬には、春になったらコロナも落ち着いているだろうと思っておりました。春には、夏になったら、そして夏も…。コロナでおはなし会もときれときれの状態です。そんな時だからこそ、おはなしや絵本が子どもたちやかつてこどもだった大人の心を癒してくれたらいいなと思っています♪



おはなしの記録6月～8月実施

- 「アナンシと五」「小石投げの名人タオ・カム」
- 「せかいで一番きれいな声」「ちいちゃいちいちゃい」
- 「ねずみじょうど」「はらぺこピエトリン」
- 「ふしぎなたいこ」



図書館のおはなし会も出張おはなし会も、中止になることが多かったです。

それでも、安全対策を万全にしておはなしを楽しむ場を持たせたことに感謝です。子どもたちにたくさんおはなしが届けられますように♪



図書館大きな子のおはなし会



～想像の翼を大きく広げて～

耳から聞くおはなしの楽しさを多くの人に届けます。興味のある方はぜひ一度聴いてみてください。また、ご希望の場所に出かけて、おはなしを語ることも可能です。お気軽にご相談ください。

毎月第1土曜日 午前10時30分～
(30分程度)

おはなしのへやにて

内容：ストーリーテリングと絵本など
※予約はいりません。お気軽にご参加ください
ただし図書館が休館のときはありません

【おはなし会のお問い合わせ】
西脇市図書館（電話0795-23-5991）
パルランド 丸山（電話090-8930-0921）

パルランド通信は「パルランド」が発行しています。

